

今回山形短観における主な判断、事業計画の動き (2020年3月調査)

1. 業況判断

3月調査では、製造業が改善したものの、それを上回って非製造業が悪化したため、全産業では▲11と前回調査から▲3ポイント悪化した。因みに、前回調査では改善、水準は▲7を予測していた。

製造業・・・化学、輸送用機械が横ばいとなった中、はん用・生産用・業務用機械、電気機械が改善したため、全体では▲6と前回調査から11ポイントの改善となった。前回調査では、水準は▲15を予測していた。

非製造業・・・建設、卸・小売、運輸・郵便、情報通信、電気・ガスと多くの業種が悪化したため、全体では▲17と前回調査から▲17ポイントの悪化となった。前回調査では、水準は0を予測していた。

先行き(2020年6月予測)は、非製造業が改善するものの、製造業が大幅に悪化するため、全産業では▲21と▲10ポイントの悪化を予測。

2. 売上・収益計画

(1) 売上高

2019年度(計画)は、製造業は前年度比▲1.3%の減収、非製造業は同▲0.1%の減収となり、全産業では同▲0.8%の減収計画。

前回調査との比較では、製造業(修正率▲0.8%)、非製造業(同▲0.6%)とも下方修正され、全産業では▲0.7%の下方修正となった。

2020年度(計画)は、製造業は前年度比4.1%の増収、非製造業は同▲1.5%の減収となり、全産業では同1.4%の増収計画。

(2) 経常利益

2019年度(計画)は、製造業は前年度比12.6%の増益、非製造業は同▲40.5%の減益となり、全産業では同▲4.9%の減益計画。

前回調査との比較では、製造業（修正率 6.6%）が上方修正されたものの、非製造業（同▲21.8%）が下方修正されたため、全産業では▲0.8%の下方修正となった。

2020年度（計画）は、製造業は前年度比▲11.3%の減益、非製造業は同▲16.8%の減益となり、全産業では同▲12.4%の減益計画。

3. 設備投資額（含む土地投資額）

2019年度（計画）は、製造業は前年度比▲33.2%、非製造業は同▲18.0%の減少となり、全産業では同▲26.8%の減少計画。

前回調査との比較では、製造業（修正率▲4.4%）が下方修正されたものの、非製造業（同 12.5%）が上方修正されたため、全産業では 2.8%の上方修正となった。

2020年度（計画）は、製造業は前年度比 33.5%、非製造業は同 3.5%の増加となり、全産業では同 19.4%の増加計画。

4. 雇用

雇用人員判断・・・ 製造業、非製造業とも、「不足」超幅は横ばいとなったため、全産業の「不足」超幅は▲33 と前回調査比と同水準。先行き（2020年6月予測）の「不足」超幅も同水準を予測。

以 上